

特集展示 2023 年度 第Ⅱ期

大正・昭和初期の東京風景

— 織田一磨を中心に —

*Scenery of Tokyo in Taisho and Early Showa Eras:
Focusing on ODA Kazuma*

2023年6月14日(水)~9月24日(日)

東京の風景は常に変化しているように見えます。特に都心部の商業地の変貌ぶりは著しく、しばらく見ないうちに全く違う姿に変わっていたなどということもしばしばあります。その変化は主に大規模な土地区画整理や市街地の再開発などによるものでしょう。

そのような要因とは別に、都市風景の変化は戦争や震災など歴史的な被災からの復興によって生じるというケースがあります。その場合は広域に亘る再建により、都市自体の相貌が激変することになるといえます。

その事例のひとつを大正12年(1923)9月1日に発生した関東大震災前と後の東京の都市風景の変化に見ることができます。

織田一磨(おだ・かずま/明治15〔1882〕-昭和31〔1956〕)はその二つの東京の姿をリトグラフ(石版画)によって描写した版画家でした。明治30年代に水彩画制作を中心に画家活動を開始し、大正期に入ってリトグラフを専門に制作する版画家となった織田は、主に居住した東京や大阪、松江など、さらに旅行した新潟や奈良などの風景をリトグラフに表しました。そのうち最も多く描いたのが東京の風景でした。その中でも、江戸に想いをはせながら幕末や明治初期の面影を残す大震災前の東京を描いた『東京風景』と、大震災後の復興事業によって建設された新東京の姿を描いた『画集銀座』や『画集新宿風景』は、織田の代表的連作版画としても知られています。

本特集展示では、これら織田の作品を中心に、関東大震災前と震災直後そして復興後の東京を描いた版画を展示して、東京風景の変化の様子を概観します。

◇出品リスト *サイズはタテ×ヨコ cm

- 1 織田一磨(明治15〔1882〕-昭和31〔1956〕)
東京風景 愛宕山
大正5年(1916) リトグラフ 41×26
小野忠重旧蔵
- 2 織田一磨
東京風景 十二階
大正5年(1916) リトグラフ 43.5×18.5
小野忠重旧蔵
- 3 織田一磨
東京風景 小舟町河岸
大正5年(1916) リトグラフ 44.5×29.5
小野忠重旧蔵

- 4 織田一磨
東京風景 柳橋
大正5年(1916) リトグラフ 29×39.5
小野忠重旧蔵
- 5 織田一磨
東京風景 和田倉門
大正5年(1916) リトグラフ 28×39
- 6 織田一磨
東京風景 小日向大日堂
大正5年(1916) リトグラフ 29.5×43.5
- 7 織田一磨
東京風景 洲崎
大正5年(1916) リトグラフ 25.5×42.5
- 8 織田一磨
東京風景 上野広小路
大正5年(1916) リトグラフ 40×28
- 9 織田一磨
東京風景 上野之桜
大正6年(1917) リトグラフ 40×27
- 10 平塚運一(明治28〔1895〕-平成9〔1997〕)
東京震災跡風景 築地
大正12年(1923) 木版 21.8×30
- 11 平塚運一
東京震災跡風景 ニコライ会堂(ニコライ)
大正12年(1923) 木版 29×21.2
- 12 平塚運一
東京震災跡風景 芝大門
大正14年(1925) 木版 21×28.8
- 13 平塚運一
東京震災跡風景 被服廠跡納骨堂(被服廠跡)
大正14年(1925) 木版 21×28.6
- 14 平塚運一
東京震災跡風景 あさくさ(浅草)
大正14年(1925) 木版 28.5×22.3
- 15 川瀬巴水(明治16〔1883〕-昭和32〔1957〕)
東京二十景 芝増上寺
大正14年(1925) 木版 36.1×24
展示: ~8/6
- 16 川瀬巴水
東京二十景 神田明神境内
大正15年(1926) 木版 36.3×23.6
展示: ~8/6
- 17 川瀬巴水
東京二十景 明石町の雨後
昭和3年(1928) 木版 24×36.4
展示: ~8/6
- 18 川瀬巴水
東京二十景 千束池
昭和3年(1928) 木版 36.3×24
展示: ~8/6

- 19 川瀬巴水
東京二十景 馬込の月
昭和5年(1930) 木版 36.3×24
展示：～8/6
- 20 川瀬巴水
東京二十景 新大橋
大正15年(1926) 木版 36.3×24
展示：8/8～
- 21 川瀬巴水
東京二十景 大根河岸の朝
昭和2年(1927) 木版 36.3×24.1
展示：8/8～
- 22 川瀬巴水
東京二十景 池上市の倉(夕陽)
昭和4年(1929) 木版 23.9×36
展示：8/8～
- 23 川瀬巴水
東京二十景 荒川の月(赤羽)
昭和4年(1929) 木版 36.2×23.9
展示：8/8～
- 24 川瀬巴水
東京二十景 滝の川
昭和4年(1929) 木版 36.3×24
展示：8/8～
- 25 織田一磨
酒場フレデルマウス(『画集銀座』第一輯)
昭和3年(1928) リトグラフ 27×17
- 26 織田一磨
銀座千疋屋(『画集銀座』第一輯)
昭和3年(1928) リトグラフ 17×28.5
- 27 織田一磨
松屋より歌舞伎座遠望(『画集銀座』第一輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17×28
- 28 織田一磨
酒場バックス(『画集銀座』第一輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17×28
- 29 織田一磨
屋台店(『画集銀座』第一輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17×28.5
- 30 織田一磨
シネマ銀座(『画集銀座』第一輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 27×17.5
- 31 織田一磨
人形売少女(『画集銀座』第二輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17.5×28.5
- 32 織田一磨
新橋夜景(『画集銀座』第二輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17×28.5
- 33 織田一磨
酒場スウリール(『画集銀座』第二輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17×28.5
- 34 織田一磨
スキヤ橋夜景(『画集銀座』第二輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17×28.5
- 35 織田一磨
銀ブラ(『画集銀座』第二輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 16×27.5
- 36 織田一磨
夜更けの銀座(『画集銀座』第二輯)
昭和4年(1929) リトグラフ 17×27
- 37 織田一磨
ほていや六階から新宿三越遠望(『画集新宿風景』)
昭和5年(1930) リトグラフ 17.5×28
- 38 織田一磨
新宿カフェー街(『画集新宿風景』)
昭和5年(1930) リトグラフ 28×16.5
- 39 織田一磨
武蔵野館(『画集新宿風景』)
昭和5年(1930) リトグラフ 17×27.5
- 40 織田一磨
明治神宮表参道(『画集新宿風景』)
昭和5年(1930) リトグラフ 17×27
- 41 織田一磨
花うり娘(『画集新宿風景』)
昭和5年(1930) リトグラフ 27×17
- 42 織田一磨
新宿ステーション(『画集新宿風景』)
昭和5年(1930) リトグラフ 17×28
- 43 織田一磨
セメント工場風景
昭和5年(1930) リトグラフ 42.5×58
- 44 川上澄生(明治28〔1895〕・昭和47〔1972〕)
新東京百景 銀座
昭和4年(1929) / 摺り：昭和20年(1945)
木版 18.3×24.2 小野忠重旧蔵
- 45 川上澄生
新東京百景 浅草公園 カジノフォーリー
昭和5年(1930) 木版 18×23.9 小野忠重旧蔵
- 46 前川千帆(明治21〔1888〕・昭和35〔1960〕)
新東京百景 新宿夜景
昭和6年(1931) / 摺り：昭和20年(1945)
木版 18.1×24.2 小野忠重旧蔵

2023年6月14日

発行：町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1

<http://hanga-museum.jp/>